

平成24年度 佐賀県スカウト技能大会アンケート回答一覧

1. 企画内容について

- ◆ 良い企画だったと思います。(一部の団を除いては…)直接指示を出している指導者がいたのが残念でした。
- ◆ 非常によい企画であったと思います。スカウトたちの意外な一面を垣間見たり、感心すること、がっかりすること、いろいろでしたが今後の活動計画を考える上でも大いに役立つと思いました。
- ◆ 今回、トイレまで作っての大会でしたが、終わってみればスカウトにはいい経験になったと思います。個人的には、トイレを一番心配していたので…一つくらいは、合同のプログラムがあってもよかったかな?…韓国スカウトが来たので一緒に交流はできましたが。
- ◆ 最初は、難しいプログラムと思いましたが、終わってみると、スカウトの自主性を養うための、良いプログラムだったと思います。
- ◆ 技能の向上に繋がれば良いと思います。
- ◆ 自主性を育むことはとても大切な事であります。プログラムに頼り受け身で動く事が多い今日、子ども達には新鮮で、わくわく感があったと思います。わくわく感は感動につながります。とても良かったと思います。
- ◆ いろいろ考えさせられました。①スキルとは何か ②アップとはどのような状態なのか ③アップする方法はどうすればいいか ④自主性とは何か ⑤自主性を伸ばすには、どのような方法があるかなど考えれば考えるほど分からなくなります。多分、二つの迫り方があると思います。①子どもが自分で考え身に付けていく ②指導者からいろいろ教えてもらいながら身に付けて自分のものにしていくこの二つがバランス良く進んでいくことが理想の様な気がします。
- ◆ 今回は子どもが自分たちで考えてスキルアップを図ることが狙いだったので、「自分たちで考える」はよかったと思いますがスキルアップができたかは検証しようがありません。各指導者の主観で推し測るしかないと思います。
- ◆ なにもかもいっぺんにスキルアップは難しいかと思えます。ハイキング→野外料理とスモールステップでスキルアップを図ってききましたが、今年になって一気に3泊4日の長いキャンプになりました。この急変の意図がはっきり伝わりませんでした。
 - ◆ 企画の段階からスカウトの参画が得られればもっと良かったのではないか。
- ◆ 隊ごとにキャンプに臨んでいましたが、一部の隊はハガマ、薪持参のキャンプでした。実行委員会の指導者(隊長)がおられたのでは。
- ◆ 技能大会の目的を無視した野営を行っている団が見受けられた、もっとスカウトの自主性を活かせる大会へと、今後の取り組みに期待したい。
- ◆ グリーンバーがいなくて心配しましたが、子供たちはそれなりに考えて動いていたようです。ただ、スカウトにも技能・経験の差があり相談したい時に指導者のサイトが近くにあればよかったそうです。設営・撤収については、指導者の指示がなければ厳しい感じがした。

2. 日程について

- ◆3泊4日あったので良かったと思います。(1泊2日や2泊3日は中日がないのもったいない)
- ◆部活・社会活動との兼ね合いから考えて、よりたくさんの方が参加が期待できるのはこの期間がいいのかなと思います。
- ◆トイレもない大会で心配しましたが・・・夏休み期間で考えるとあの日程になるのかなと思いますが、お盆にかかる大人は少しきついな。
- ◆スカウトにとっては、参加しやすい日程だったと思いますが、我々リーダーにとっては、休むのに厳しい時期でした。リーダーの参加の調整が大変でした。
- ◆スカウトは参加しやすかったと思いますが、指導者の日程調整が大変でした。
- ◆3泊4日は、中2日フルに活動ができますのでよいと思います。しかし、お盆の13日にかかるのは、大人はちょっと厳しいですね。
- ◆日本人とお盆は切り離せないと思います。多くの行事がそこを外すわけですからスカウトの行事も外して考えるのが妥当だと思います。
- ◆ベンチャーが参加しやすいように10日からの日程にしたという話でしたが、その日程で果たしてベンチャーの参加が増えたかは不明。
- ◆3泊4日はよかった。
- ◆お盆の13日にかかる日程ではあったが、これは「仏教徒」の都合から言えば好ましくはなかったかもしれないが、その他の宗派からみれば関係ないといわれるのかもしれない。
- ◆新たな試みでよかったと思う。
- ◆13日にかかったが、特に問題はなかった。
- ◆日程もスカウトの参画により決めてはどうだろうか。
- ◆12日、13日のお盆前は避けていただきたい。
- ◆お盆前の大会で賛否両論あったが、スカウトの大会だからスカウトの参加可能な日程で良かったと思う。
- ◆指導者にとってはお盆休みと重なって、参加しやすかったようです。

3. 実行委員会方式について

- ◆各隊のリーダーのスキルアップにつながったので良かったと思います。
- ◆私にとっては各隊の指導者さんと知り合いになれると言う点でよかったです。可能なら今後も続けたらよいと思います。
- ◆実行委員会方式で特に問題はなかったのでは・・・
- ◆結果的には実りのある活動となりましたが、私自身大きな大会は初めてだったので、最初に実行委員会方式で行うことなどの説明がほしかったと思いました。
- ◆賛同致します。
- ◆このやり方に皆が慣れていない。だから誰がどの委員なのかよく分からなかった。
- ◆実行委員会に参加する指導者が少ないので結局数人の委員で計画を立てることになってしまう。

- ◆実行委員会と本部の役割分担が不明瞭でした。実行委員会が本部がいた部屋に詰めて全体を動かすべきでしたが、実際は、県コミ等の本部が主導するような格好になってしまいました。
- ◆県内の指導者の数が以前より相当減っているでしょうから、あまり大がかりの取り組みは難しくなっているような感じがしています。
- ◆全ての指導者を対象として組織するということを早期に、全面的に周知し、各部への割り当てをすればスタッフ不足とはならないのではないか。
- ◆しかし、それほど多数のスタッフは不要かも・・・。
- ◆実行委員会方式はよいのですが、委員さん、指導者の方に周知徹底しなければいけないのでは。
- ◆実行委員会方式は、委員の自覚が大切である。指導者一人ひとりが自分が何をしなければいけないのか考えなければ、せつかくの実行委員方式の意味がないと感じた。
- ◆大会には参加できないが、しっかり準備してくださった隊長さんもおられました。一度も指導者の方が会議に出てこられず、大会にも参加されなかった原隊もありました。会議の中で意見を述べても、県連執行部より「〇〇をお願いします」という一言で終わり、他の方の意見が聞けず、県内の指導者みんなで作り上げようという雰囲気にはなれなかったのではないのでしょうか？

4. 大会での運営・組織について

- ◆各部を細かく分けたのが良かったと思います。
- ◆それぞれの部署が業務を全うすることで大会運営はスムーズに行くと思いますが、人手不足と連携不足はあったと思います。今後も定期開催するとしたら、協賛・後援などを募りスタッフについても補助が受けられれば良いと思います。
- ◆詳しいことは分かりませんが、それぞれ機能していたと思います。
- ◆各部での話し合いが十分でなく、特定の方に負担がかかる結果になったのが反省点です。
- ◆各部長の責任の下、上手く機能していたと思います。
- ◆一極集中型はより混乱を招くと思います。4つの野営区運営の連携のお陰です。
- ◆どの部もよく頑張っていたと思います。
- ◆4つの野営区も妥当だったと思います。
- ◆野営区長は、キャンプサイトに常駐するべきだったと思いました。
- ◆トイレ、シャワー室、水汲み場などを作る「施設資材部」があればよかった。
- ◆野営長さん、各部長さんお疲れ様でした。そしてありがとうございました

5. 取り組みや準備期間について

- ◆準備期間は十分だったと思います
- ◆下見の時期としては適当と思いました。実行委員会はもう少し早めの取り組みが望ましいと思います。
- ◆事前準備に、私個人は、協力できなかったので申し訳ないと思っています。外部から見たら、あれだけの準備と資料作成は大変だったと思います。
- ◆グリーンバーの下見の連絡については、前週の活動が終わった後だったので、もっと早めの連絡をお願いします。通常は、前月初旬の班会議で翌月の予定を決めていますので。
- ◆妥当な期間だと思います。
- ◆各部の話し合いの時間とそれを実行委員に伝えるという二つのことを行っていました、なかなか時間が足りませんでした。
- ◆4回程度の委員会回数でよいと思います。不足の時間は、各部が独自に集まって話し合えばいいと思います。
- ◆準備委員会の設置→実行委員会の設置→大会全体の企画→会場の決定→実施要項・各部業務要領の策定→グリーンバーの下見→最終実行委員会→大会当日→反省会
- ◆5か月前の動き出しでも少々遅い気がする。
- ◆委員会に必ず出席をお願いします。欠席の方には連絡を取り、全員が取り組みに対して把握していただきたい。
- ◆実行委員会等、全てがもっと早く立ち上げるべきだったと思う。
- ◆6月に下見にいて区長さんから水道ラインの復旧や浴室の設置等の話を伺っていましたが、見込はあてにならないと思いました。しかし、草刈りを請け負ってしていただいたのは、とてもありがたいと感じました。

6. 参加費・費用について

- ◆1人 5,000円はちょうど良かったともいます。(全体の出費を考えたら…)
- ◆費用としては適当な額であると思いました。
- ◆参加費用については、決算が出ていないので何とも言えません。余る必要はないと思いますが
- ◆妥当なようにと思いますが、年間の予算がありますので、年間計画に盛り込めるように、早めに決定いただくようお願いします。(隊での活動費は、年間一人 12,000円です)
- ◆妥当な金額だと思います。
- ◆決算をみてみないとわかりませんが、食糧の分量から見て、少し高すぎるのではないかと思います。食材以外の出費状況が分からないので、うまく回答ができません。
- ◆精算を待って判断する。
- ◆経費プラス、マイナス

7. 準備から当日の湊港まで

- ◆各隊に任されたので良かったともいます。

◆今回は白石1団との合同隊として参加しましたので、白石の指導者さんにご協力いただきました。具体的には、当日までに白石スカウトハウスに荷物を集めて2トントラックで湊港に運んでいただきました。

鹿島1団のスカウト6名は 9:07 肥前鹿島駅発普通列車に乗り、白石1団のスカウト4名は 9:17に同列車に合流。西唐津駅に到着後、昭和バスに乗り換え湊入口バス停に到着。徒歩で湊港まで移動しました。

(交通費 JR1250円、バス540円)。時間はぎりぎりでしたが間に合いました。

◆トイレ施設がないこと、水道がないことなどから装備品が増えたため、軽トラックに満タンでした。平日で、リーダーが十分そろわず、スカウト輸送に苦慮しました。

◆ 当日が平日でもあり、搬入時間や、積込む船のことについて直前まではっきりせず、計画を立てるのが大変でした。

◆午前8時に指導者、スカウト共にハウスに集合し車(軽トラ1台・普通車2台)に隊装備品及び個人携行品を積み込み9時前に出発し11時ごろ湊着。

◆7時に願正寺集合。→団委員の軽トラックに積み込み。→7:30にトラックとスカウト出発→9時半前に到着。多久の吉田さんの指示により積み込み作業。・・・スムーズに流れました。

◆ より少量・軽量・コンパクトな資器材の準備が必要と感じた。

◆ 荷物の個数で運賃を計算するという情報をメールでいただいて、前日夜遅くまでロープでくっていました。

8. 湊港から神集島港まで

◆今回は、定期船にて運べる物資だったので、今回のやり方で良かったと思います。

◆12:10 発 の船に指導者4名とスカウト10名で荷物を船に積みました。10分間でなんとか積み込みました。スカウトと指導者はそれぞれ個人装備を持って船に乗りました。

◆ 定期船に10分で積み込みを行うのが大変でした。結果的にはできましたが・・・。

◆人と、荷物の運送については、スムーズだったと思います。

◆12時10分の定期便にて、人員物資共に移動(輸送)。

◆皆さんの協力があり良かったと思います。

◆他の一般の乗客の方に迷惑を掛けた気がします。 もう少し謙虚、ご迷惑をおかけしていますという精神が必要でした。

◆資器材搬送の担当者が大変だったのではないかと。

◆輸送部長の割り振りのおかげで、3隊が乗り込み、荷物も指定された場所にどうにか積み込むことができました。

9. 神集島港から大会1日目(8月10日)

◆全日程、スカウトが考えたプログラムなので問題なかったと思います。

◆湊港到着後、隊装備を湊におろし、軽トラックに積み込みました。1回では積み込めず(他隊の荷物もあったため)、2回で搬入しました。スカウト10名と指導者2名は徒歩で個人装備を

かかえてキャンプ場へ移動しました。指導者1名は残った荷物とともに残り第2便でキャンプ地入りしました。

- ◆各隊で到着時間が違うので、何とか輸送できたという感じです。軽トラック1台では、やはり厳しかったと思います。同じ軽トラで給水も行っていたので。
- ◆一日目は、スカウトの準備は万全ではありませんでしたが、スムーズな設営ができました。しかしながら、配給部では勝手がわからず、もたついた所があり、ご迷惑おかけしました。
- ◆多久は少人数ながら設営は大きなテントにかかわらずうまくやっていました。どこもスムーズに行っていたと思います。
- ◆隊備品は軽トラでよかったのですが、大きすぎ多過ぎる個人装備を運ぶのに苦労していました。一日目の設営状況がのぞけなくて、うまくいったのかが、原隊の隊長には分からなかった。
- ◆野営管理のサイト割はもっと早くしておくべき。
- ◆サイト割図の表示も必要。
- ◆早く入村したところから設営したので良かったのでは。荷物が多い隊が見られた。
- ◆軽トラを借り上げていただきよかったですと思います。一部では、2台欲しかったという声も聞かれましたが、船積の荷物が制限されている中ではちょうどよかったのかなと思います。ひび割れたフロントガラスはどうなったのでしょうか？

10. 大会2日目(8月11日)

- ◆白石・鹿島隊は午前は班サイト整備、午後は釣りと海水浴のプログラムでした。指導者2名が監視につきました。基山1団のカヌーにも乗せていただきました。海水浴場はシャワーはなく、近くの民家のご好意でスカウトたちの体を洗うことができました。
- ◆初日に一度帰って、2日目の夕方からの参加でしたので十分把握できていませんが、各サイトともうまくやっているように感じました。
- ◆配給部が忙しくて、スカウトの活動を見る余裕がありませんでした。
- ◆班プログラムを計画通り実施でき、食事についても定刻通り摂ることが出来た。テントサイトの整理整頓が不十分であった。
- ◆釣りと宿題でしたが、早朝の雨で順番を入れ替える事ができたので子ども達は元気にこなしました。低学年も高学年も水の配給など、どこもよく係として動いていると感じました。
- ◆朝方に雨が降り、班サイトでフライが倒れるなどが起きたが、そこに指導者が手を出す様子が見られたことは残念なことだった。困難な場면을克服することでスカウトの成長が図られるのではないだろうか。
- ◆雨により午前中の海でのプログラム展開が中止されたことは解せない。それほど危険な状況であったとは思えない。
- ◆班プログラムは1時間程度「いかだつくり」しかできませんでした。

11. 大会3日目(8月12日)

- ◆立派なエールマスターでしたが、残念ながらボーイスカウトの営火では無い気がしました。すいません m(_ _)m

- ◆午前・午後とも島内ハイキングを予定していたようですが、韓国スカウトの来場に際し交流会参加することとし、ハイキングはとりやめて、午前はサイト内で活動していたようです。韓国スカウトとの交流は、めったにないことで教育上も非常にいいことであると思いましたが、事前の連絡がなかなかなく、計画性にも乏しい印象でした。しかし、スカウトたちの楽しそうな様子を見てちょっとほっとしました。(来訪前の大人達のなかに漂っていた不穏な(?)空気は若干残っていましたが)
- ◆営火についてはいわゆる「キャンプファイヤー」という感じがでてよかったと思いますが、経験の乏しい私は、真の「ボーイスカウトの営火」を見てみたかったです。
- ◆営火の運営自体は、基本形でよかったと思いますが、各野営区からの出し物をする際、練習不足もあってか、モヤモヤを感じました。スカウトたちのマイクの声もよく通らない状況。
- ◆3日目の交流会の途中で失礼しましたのでコメントできません。
- ◆交流会は希望制でしたが、全員参加でも良かったと思います。営火はみんなが雰囲気浸っていました。
- ◆交流会はベンチャー諸君の頑張りでうまくいったと思います。
- ◆営火は行事部で取り組みました。ちょっとオーソドックス過ぎたかなと思います。エールマスターは行事部から出しました、ベンチャースカウトからの起用もありうる。営火の感想はぜひ行事部にも欲しい。
- ◆韓国スカウトとの交流自体はよかったが、それに振り回された感が残る。電話での依頼ではなく文書での依頼が望ましいし、間違いが少ない。どのような人たちかも分からない。
- ◆ベンチャースカウト主導での交流会はよかった。
- ◆名刺の準備などが必要だった。
- ◆営火は普通にスカウトの営火がよかった。1部、2部、3部と分かれるような他の青少年団体のやり方はそぐわないと感じた。
- ◆出し物の内容の指導が必要だった。(クイズ、ゲームはあり得ない)
- ◆「火の神」と「営火長」2つの存在に戸惑った。営火長が火を持ってくる、自然に発火する、などでよかったのではないか。
- ◆指導者が常に「蚊帳の外」「部外者」みたいにしている。同じ輪の中に入れるべきである。
- ◆営火(キャンプファイヤー)とは何か、ということについて再認識が必要であることを痛感した。
- ◆スカウトの仲間として言わせてください。これが、技能大会の「営火」なのかと、残念でした。
- ◆班プログラムは2時間程度「いかに遊び」ができました。韓国スカウトとの交流は待ち長かったですが、スカウトたちにも多くの笑顔が見られ、よかったと思います。営火はスカウトたちが自主的に出し物を考えていました。行事部のみなさん、ご苦労様でした。

12. 大会4日目(8月13日)技能コンテスト、閉会式、撤収

- ◆撤収については、一番良い方法だったと思います。

- ◆技能コンテストについては、今回の大会のメインイベントでありましたので、もう少し講評を長くてもよかったのではないかと思います。(その後の撤収作業もありやむを得なかったかもしれませんが)できれば、各サイトのよかったところ、悪かったところをスカウトたちにフィードバックしていただければよいと思います。(大会の記録、アルバム、ホームページなどで)
- ◆撤収については、前夜に行われた班長会議、指導者会議の内容とは大幅に変更となったような気がします。何とか早く帰りたい気持ちはよくわかりますが、全体の事を考えて行動していただきたいと思います。はたして大人達は「ちかいとおきて」の実践ができていたのか？スカウトたちはみてないようで見えています。よりよい社会人の育成のためにはまず指導者が手本となるべきだと思います。通知されていた撤収時刻から計画を立てて行動していたスカウトたちは、突然の大人の都合で急な荷物搬出を強いられ、非常に申し訳なく思いました。
- ◆キャンプサイトの作り方としては、立ち釜戸など十分手をかけて準備したところが、スッキリした設営になっていたと思います。閉会式は、簡単でしたが、あれでいいと思います。撤収については、前日の隊長会議で、決まっとおり、早くから取り掛かり、予定通りの行動ができました。
- ◆聞くところによると、スムーズな撤収ができたようです。
- ◆朝会と閉会式は計画では別々でしたが一度に集約でき良かったです。
- ◆コンテストの採点は、スカウト、本部、野営区長という広範囲の評価者で行っているので公平性があったと思います。
- ◆閉会式は短時間でよく出来ていました。
- ◆撤収は、帰りの船の乗客数や荷物の関係もあり、早く帰る団もあり指導者が入って行くことが許可されました。おかげで早く済み1本前の船で帰れました。本来ならば撤収もスカウトだけでさせるべきでした。
- ◆審査員の審査のポイントを全員の前で明確にした方がよい。たとえば「私はかまどを見ました。かまどの大きさ、耐久性、結索箇所の正確さをチェックしました。」
- ◆弥栄の仕方、受け方の指導が必要。
- ◆国旗掲揚の仕方、取り扱い、整列のさせ方、合図の出し方など、基本動作の習得が急務であると感じた
- ◆撤収での輸送計画が立てられていない。
- ◆ゴミを捨てていくという感覚ではなく、少なくとも自分たちのゴミは自分たちで持って帰るという心が本来のスカウトキャンプではないだろうか。「感謝のみを残す」キャンプはどこに行ったのであろう。
- ◆撤収が早い隊より荷物の配送(フェリー着き場)をしたつもりですが、フェリーの時間帯に合わせて行くと早くても後回しになる隊もいました。
- ◆技能コンテストはメインでした。スカウトに採点を依頼していましたが、スカウト達へ採点の基準のレクチャーがあったのでしょうか？コンテストなのでですから、もっと明確な申し合わせが必要だったと感じた。

◆閉会式を朝行うことで、スムーズに撤収作業が行えました。

13. キャンプ場から神集島港まで

◆順序立ててうまい具合に物資を運べたと思います。

◆一足はやく荷物はキャンプ場から神集島船着場に移動され、チャーターされた漁船で湊港へ。湊港では白石の指導者がトラックで待機していました。

◆基山が一番に撤収することで、了解いただいていたので、一番のトラックで港まで運搬することができましたが、それでも定期船への積み込みは、2~3隊分になるので、荷物が多く、あわや途中で止められる可能性もありました。キャンプ場は出ても、港で足止めされた可能性も。どの隊も軽トラ1台分は荷物があるため、輸送担当の人は、大変だったと思います。もう1台あればかなり楽だったと思いますが・・・予算のこともあるので。

◆第1便での物資の搬送でしたので、スカウトのみの撤収ではなく、指導者の協力が必要であった。

◆一部に装備の搬送で順番がちがった事を聞きましたが、船での影響までは無かったとの事です。全体が協力して頂いたと思います。

◆軽トラックのお陰でスムーズに戻れました。

◆輸送部の方、軽トラでの運搬、ご苦労様でした。

14. 神集島港から原隊まで

◆問題ありませんでした。

◆スカウトはバスで西唐津駅まで移動し、JRに乗り換え、肥前白石、肥前鹿島(18時頃着)。その後解散。

◆荷物おろしは、行きと同じく10分で下ろすため、各隊分けて積んでいても最後は、混雑して数点が違って運搬されました。(後日解決)また、混雑の中アイスボックスを港に忘れ、基山について気づいたのですが、鳥栖隊がちょうど神集島港に着いてということで、轟隊長に確認してもらい持って帰ってきてもらいました。ありがとうございます。原隊の荷物を積み込んで帰ろうとしたときに、チャーター便の船が来たため別の隊の荷物おろしを手伝うことができました。(自分たちだけ早く帰るのは気がひけるので???)鳥栖隊の帰り時間を見ても、やはり、最初に出た隊と後発の隊で相当時間の開きが出たと思います。

◆皆、疲れていたようですが、一部ハイテンションなスカウトもいたようです。

◆車(軽トラ1台・乗用車3台)4台に分乗し、16時前にハウスに到着、後片付けをし、17時前に解散。

◆別にこれと言ったこともなく、片付けまで素早く出来ました。

◆湊の岸壁で団指導者の軽トラックに荷物を積み込み、直ぐに出発。指導者の車3台に9人分乗して帰路。

◆スカウトが自らの足で移動することは不可能なことだろうか。

◆荷物の積み込で「量が多い」というトラブルがあったそうですが、帰りの船が早くなったからでしょうか？

15. 終了後のスカウトの感想

- ◆ 各隊の交流(勝手に交流してたそうです)が一番良かったそうです。
- ◆ ベンチャーとのつながりも出来、喜んでました(つき合っているそうです)(^^;)
- ◆ 疲れたけど、楽しかった。トイレが……。荷物を担いでの移動がきつかった。ごはんは上手に炊けた。たちかまどはうまくできた。海のプログラム(海水浴)が楽しかった。など。
- ◆ きつかったようですが、それでも満足しているようでした。次の集会にもみんな出てきました。いつもカブが一緒なので、今回はボーイだけでまとまったのかも・・・トイレなどに対する苦情も今のところないようです。
- ◆ 皆、疲れたけれど充実感のあるキャンプだったようです。
- ◆ 「良い思い出ができました。」 「楽しかった。」 等でした。
- ◆ キャンプが好きになりとても思い出になったようです。
- ◆ 成就感を味わえたかは不明。・自由にできたことが楽しかったというものもいるでしょう。
- ◆ 大会前にはスカウト活動に躊躇していたスカウトが、自隊で9月に行く上進キャンプには必ず参加する、と言っていたらしい。楽しいキャンプとなったようである。
- ◆ ベンチャーの食事はボーイ隊が作ったものを食べることになっていましたが、現地について「メニューは自分たちで考えろ」と言われ、調理器具もそろえられず戸惑ったようです。ベンチャーに自炊させるのであれば、一人の指導者の指示ではなく、7月15日の会議で決定し、周知徹底させておくべき内容ではなかったでしょうか？

16. 終了後の指導者の感想等

- ◆ 各隊の特色が分かり良かったと思います。
 - ◆ 隊、あるいは団キャンプの経験はあっても、大勢で参加する野営大会は初めてのスカウトも多かったと思います。正直、九州大会やジャンボリーは日程も長く、多くの忙しい中学生や高校生は参加が難しいことだと思います。そのような状況で、身近な県内で、3泊4日の大会が開催されたことは大きな意義があったと思います。また、プログラムも自主性に任せたことはよかったですと思います。今回は、いろいろ試行錯誤があつての大会だったと思いますが、恒例化することによって徐々に問題点が解決されて、いい大会になっていくと思います。(マンネリ化の可能性もありますが・・・)
- また、トイレを自分たちで作る経験は、賛否両論ありましたが、いいことだったと思います。私自身も初めての経験でありましたが、災害の多い日本にあっては、いつでもこのような状況におかれる可能性があることと思います。そのようなとき、経験があるのとないのでは大きな違いがあると思います。つらい思いをしたスカウトも多かったと思いますが、「快便」がいかに大切なことか分かってくれたことと思います。
- 今回の大会にあたり、「装備はできるだけ簡素にコンパクトに」が合い言葉であったはずですが、工夫がみられたところとそうでなかったところがあったと思います。(特に船での輸送は厳しいことは分かっていたはずです。)今後の取り組みとして、可能ならば、与えられた資材

(竹、コンパネなど)だけで野営サイトを作るという企画もおもしろいと思いますがいかがでしょうか？以上です。失礼があればお許してください。

- ◆新しいやり方での取り組みで、準備など大変だったと思いますが、スカウトにとっても結構よかったと思います。活動については、スカウト中心で指導者は、本部待機の状態なので非常に楽でした。
- ◆皆、準備不足で不安のまま大会を向かえましたが、無事に終了できてよかったです。次回、同じような大会をすることがあれば、もっと充実した大会にできると思います。
- ◆疲れしました。
- ◆この大会の前、1日於いて2泊3日の多久市内の小学生高学年の教育キャンプに参加していました。確かにスカウトは日ごろの訓練、心構えが身につけており比較にならない頼もしさを実感しました。
- ◆一件ヒマそうに見えるキャンプでした。佐賀1団のやけどの時も指導者がいなかったときに起きた事故で、保護者から預かった子どもに目をかけることができなかつたので、責任を感じます。このシステムの最大の課題だと思います。
- ◆いろいろな意味でとても有意義な大会であったように思う。
- ◆神集島の小中学生との交流があつてもよかつたのではないでしょうか？

17. 各部担当者としての感想等

- ◆各部の連携がもっと出来れば良かったと思います。
- ◆救護衛生部担当でした。4日間の中では大きな事故もなく、会場外搬送が発生しなかつたことはよかつたと思います。4日間の受診状況等は別紙にて報告致します。まずは、暑い季節に食中毒が発生しなかつたことは、配給部の皆様方のご尽力の賜物と思います。次に、熱中症はある程度覚悟はしていましたが、それほど多くはなかつたと思います。体が慣れていない初日は数人が担ぎ込まれましたが、その後は慣れたようで、水分摂取・塩分の補給がうまくいったのだと思います。各指導者様のご指導のおかげだと思います。また、最も恐れていたハチやマムシの被害がなかつたのもよかつたと思います。ひやひやの4日間でしたが、最もよかつたことは新規購入の AED の出番がなかつたことでした。
- ◆各部の担当の方、大変お疲れ様でした。あのような状況での運営で大変だったと思います。特にベンチャー等の活躍もあつたと思います。特に、角田リーダーは、本当によく働いておられました。本当にお疲れ様でした。お世話になりました。
- ◆私自身、経験不足でご迷惑をおかけしましたが、貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- ◆部長並びに部長の原隊の隊長さんに任せっきりで、大変恐縮してます。
- ◆行事部長として、行事部員の皆様のご協力で仕事を進めることが出来て感謝します。
- ◆配給部の人数の割に行事部の人数が少なかつた。
- ◆期間中の総務部・野営管理部の仕事が見えなかつた。この二つは事前の仕事はあるが始まつたらないのよという意見もありますが、私はそうではないと思います。野営管理では、技

能章にある野営管理章のような内容の仕事があるでしょうし、総務部でも全体の世話などがあるのではないかと思います。

- ◆司会進行、上級班長役、指揮者は多くのベンチャーに経験させました。皆よくやったと思います。
- ◆指導者である我々が役割分担(パトローリング)をしっかりとしなくてはならない。各 部が責任をもって取り組むことが必要ではないか。
- ◆水道ラインが復旧せず、配給部の方を中心に港から水を汲んできていただき、水が貴重なものとなりました。子どもたちが考えてきたシャワーを実施できたところも少なかったようです。そんな中、アリーナ下の湧水のところの溜めますを備えてくださったのはよかったと思います。子どもたちも海水浴の後、さっぱりとして喜んでいました。

18. その他

- ◆この難しい時代に、青少年教育に微力ながら関わっていることに感謝しています。十人十色、三者三様などといいますが、各団また各指導者、いろいろな考え方があると思います。信念を守り貫き通すことは非常に大事なことで、子供たちにとってもいい見本だと思います。しかし、今我々が取り組んでいることは健全なスカウトの育成で、彼らをよき社会人として送り出してやるのが共通の目的であると思います。スカウト経験はなく、指導者歴が浅い私が大それたことは言えませんが、我が道を行くだけでなく、時には人の意見も聞き取り入れる寛容さが大人の指導者には必要ではないでしょうか
- ◆県連の役員の方々には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。
- ◆大会期間中、居場所に困る場合があります。大会本部として、休息できる場所を作っただけだと感じました。
- ◆大変お疲れ様でした。
- ◆流し台(シンク)まで持ち込んでいるのに驚いた次第です。大会も装備にある程度までの範囲を設定しても良いのではと感じました。
- ◆指導者のキャンプサイトはスカウトたちの見本となるべきです。スカウトたちは旧式のキャンプ生活をしているのですから、指導者のサイトもシンプルなものにすべきだったかなと思います。カタログから飛び出してきているような、快適サイトでした。野営工作物もいろいろ作ってスカウトたちに見学させて勉強(スキルアップの種をまく)をさせてよかったかな。
- ◆ベンチャーのサイトも同様です。昔話ですが私が中学生のころ、当時のシニアスカウトのサイトは素晴らしく、感動したものです。そして自分も早くあのような野営工作物やキャンプサイトが作れるようになりたいと憧れたものです。その様な憧れの的、目標となるキャンプサイトがあれば、無言のスキルアップになると思うのですが。
- ◆ベンチャー大会がその体をなしていなかった。今回の大会に参加したベンチャーの保護者からも指摘や質問がありました。行動計画や食事計画などがその場その場で作られ、食事もレトルトが多かった。事前にもう少し計画が立てられなかったものでしょうか。ベンチャー隊長会議も1回は必要でした。奉仕の日が1日あってもよかった。その日は、救護所に詰める

もの、配給所に詰めるもの、スカウトのキャンプ支援に回るものなどがあっても良かったかなと思います。

- ◆ベンチャーからも参加費5000円を徴収している訳ですから、それなりの食事や活動の場を作ってやるべきだったと思います。
- ◆4日目のゴミ分別収集の金属の場所に発泡酒(マグナムドライ)の空き缶がたくさん出していました。子どもの目に付く場所に、飲酒の残骸が残っているのは、いかがなものかと思いました。